



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月31日

会社名 株式会社 静岡中央銀行

URL <https://www.shizuokachuo-bank.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小森 博史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 平山 浩二

TEL 055-962-6113

配当支払開始予定日 —

特定取引勘定設置の有無 : 無

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	10,659	△3.3	3,245	10.7	2,335	11.3
2024年3月期第3四半期	11,027	13.1	2,930	4.6	2,098	5.2

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 2,320百万円(△54.4%) 2024年3月期第3四半期 5,098百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	97.31	—
2024年3月期第3四半期	87.42	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	860,195	68,573	7.9
2024年3月期	861,338	66,373	7.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 68,573百万円 2024年3月期 66,373百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
2025年3月期	—	2.50	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	3,840	5.2	2,700	7.0	112.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	24,000,000株	2024年3月期	24,000,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	—株	2024年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	24,000,000株	2024年3月期3Q	24,000,000株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

○ 添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
3. 補足情報【2025年3月期 第3四半期決算説明資料】	7
(1) 損益の状況(単体)	7
(2) 預金・貸出金の残高(単体)	8
(3) 自己資本比率(国内基準)	8
(4) 金融再生法開示債権及びリスク管理債権(単体)	9
(5) 時価のある有価証券の評価差額(単体)	9
(6) デリバティブ取引(単体)	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当行は2024年4月より2年間を計画期間とする第15次中期経営計画『深化Ⅱ』をスタートし、基本方針「お客様中心主義の深化」のもと、ビジネスモデルである「訪問頻度管理」を深化させ、お客様と地域に寄り添った支援を継続するとともに、外部環境・内部環境や認識する課題等を踏まえた新たな施策にも積極的に取組んでまいりました。その結果、着実にお客様が増加し、次のような成果を収めることができました。

当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は以下の単体経営成績を主因とし、経常収益は前年同期比3億67百万円3.3%減収の106億59百万円、経常費用は前年同期比6億81百万円8.4%減少の74億14百万円となりました。その結果、経常利益は前年同期比3億14百万円10.7%増益の32億45百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比2億37百万円11.3%増益の23億35百万円となりました。

### 【単体経営成績】

#### ① 預金・貸出金

預金につきましては、「店頭・店周営業」の着実な実践により、店周を中心としたお客様との接点を強化し、個々のニーズやライフステージに応じた商品・サービスの提供に努めるなど、積極的な営業活動を展開しております。当第3四半期末の預金残高は前年同期末比42億8百万円0.5%減少の7,314億60百万円となりました。

貸出金につきましては、「訪問頻度管理」による定期的な顧客訪問の徹底により、お客様が抱える経営課題やニーズを迅速且つ適切に把握することで、資金繰り支援にとどまらず、お客様の経営課題解決の支援等に積極的に取組むなど、金融仲介機能の発揮に努めてまいりました。その結果、当第3四半期末の貸出金残高は前年同期末比108億22百万円1.7%増加の6,201億66百万円となり、うち中小企業等向け貸出金は前年同期末比18億77百万円0.3%増加の5,623億29百万円、貸出金に占める中小企業等向け貸出金比率は90.6%となりました。

#### ② 利益

経常収益は役務取引等収益が増加するなど本業が堅調に推移したものの、株式等売却益の減少等により、前年同期比3億71百万円3.4%減収の105億53百万円となりました。

経常費用は与信費用の減少等により、前年同期比6億89百万円8.4%減少の74億58百万円となりました。

その結果、経常利益は前年同期比3億17百万円11.4%増益の30億94百万円、四半期純利益は前年同期比2億39百万円11.9%増益の22億33百万円となりました。

**(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況**

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比 11億42百万円減少（前年同期末比 55億16百万円増加）の 8,601億95百万円、負債は前連結会計年度末比 33億43百万円減少（前年同期末比 22億95百万円減少）の 7,916億22百万円となりました。また、純資産は前連結会計年度末比 22億0百万円増加（前年同期末比 78億11百万円増加）の 685億73百万円となりました。

主要な勘定残高につきましては、貸出金は前連結会計年度末比 93億40百万円増加（前年同期末比 108億22百万円増加）の 6,201億66百万円、預金は前連結会計年度末比 40億0百万円減少（前年同期末比 43億82百万円減少）の 7,294億44百万円となりました。

**(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

2024年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
(資産の部)		
現金預け金	96,109	90,548
有価証券	144,332	139,243
貸出金	610,826	620,166
その他資産	3,874	4,085
有形固定資産	8,507	8,379
無形固定資産	660	592
退職給付に係る資産	115	96
繰延税金資産	0	0
支払承諾見返	1,241	1,348
貸倒引当金	△4,330	△4,266
資産の部合計	861,338	860,195
(負債の部)		
預金	733,444	729,444
借入金	50,900	51,100
その他負債	3,949	4,383
賞与引当金	359	185
役員賞与引当金	54	—
退職給付に係る負債	75	16
役員退職慰労引当金	791	718
睡眠預金払戻損失引当金	1	1
偶発損失引当金	297	291
繰延税金負債	2,521	2,803
再評価に係る繰延税金負債	1,329	1,329
支払承諾	1,241	1,348
負債の部合計	794,965	791,622
(純資産の部)		
(株主資本)		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	0	0
利益剰余金	49,667	51,882
株主資本合計	51,668	53,884
(その他の包括利益累計額)		
その他有価証券評価差額金	11,529	11,528
土地再評価差額金	3,055	3,055
退職給付に係る調整累計額	119	105
その他の包括利益累計額合計	14,704	14,689
純資産の部合計	66,373	68,573
負債及び純資産の部合計	861,338	860,195

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## (四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
経常収益	11,027	10,659
資金運用収益	8,278	8,524
(うち貸出金利息)	6,555	6,675
(うち有価証券利息配当金)	1,674	1,736
役務取引等収益	1,101	1,243
その他業務収益	—	—
その他経常収益	1,647	891
経常費用	8,096	7,414
資金調達費用	297	506
(うち預金利息)	297	502
役務取引等費用	1,126	1,164
その他業務費用	—	—
営業経費	5,338	5,365
その他経常費用	1,332	376
経常利益	2,930	3,245
特別利益	13	—
固定資産処分益	13	—
特別損失	38	10
固定資産処分損	38	10
税金等調整前四半期純利益	2,905	3,234
法人税、住民税及び事業税	937	668
法人税等調整額	△129	230
法人税等合計	807	898
四半期純利益	2,098	2,335
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,098	2,335

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	2,098	2,335
その他の包括利益	3,000	△15
その他有価証券評価差額金	2,983	△1
退職給付に係る調整額	16	△14
四半期包括利益	5,098	2,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,098	2,320

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当行グループは、銀行業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	377 百万円	399 百万円



## 3. 補足情報【2025年3月期 第3四半期決算説明資料】

## (1) 損益の状況 (単体)

- 「コア業務純益」は役員取引等利益の増加等により前年同期比 68 百万円 2.6%増益の 26 億 17 百万円となり、本業の収益力を示す「投資信託解約損益を除くコア業務純益」は同 1 億 78 百万円 7.2%増益の 26 億 32 百万円となりました。
- 上記を主因とし、「経常利益」は前年同期比 3 億 17 百万円 11.4%増益の 30 億 94 百万円となり、「四半期純利益」は同 2 億 39 百万円 11.9%増益の 22 億 33 百万円と 4 年連続の増益となりました。

(単位：百万円)

	2025年3月期	前年同期比	2024年3月期	2025年3月期 中間期
	第3四半期		第3四半期	
業務粗利益	7,885	138	7,746	5,158
コア業務粗利益 (注1)	7,885	138	7,746	5,158
資金利益	8,009	31	7,977	5,193
預貸金利益	6,172	△84	6,257	4,093
役員取引等利益	△124	106	△231	△34
その他業務利益 (うち国債等債券損益 (5 勘定戻))	—	—	—	—
経費 (除く臨時処理分) (△)	5,267	70	5,197	3,503
人件費 (△)	2,796	28	2,768	1,855
物件費 (△)	2,117	81	2,036	1,405
税金 (△)	353	△38	392	242
実質業務純益 (一般貸倒引当金繰入前) (注2)	2,617	68	2,549	1,655
コア業務純益 (注3)	2,617	68	2,549	1,655
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	2,632	178	2,454	1,670
①一般貸倒引当金繰入額 (△)	△59	△353	293	—
業務純益	2,677	421	2,255	1,655
うち国債等債券損益 (5 勘定戻)	—	—	—	—
臨時損益	417	△103	521	529
②不良債権処理額 (△)	78	△774	853	39
個別貸倒引当金繰入額 (△)	78	△726	804	—
偶発損失引当金繰入額 (△)	—	△48	48	39
③貸倒引当金戻入益	—	—	—	8
④偶発損失引当金戻入益	6	6	—	—
償却債権取立益	0	—	0	0
株式等関係損益 (3 勘定戻)	457	△1,096	1,553	457
その他臨時損益	32	211	△179	103
退職給付費用 (△)	△20	△44	24	△13
経常利益	3,094	317	2,776	2,184
特別損益	△10	14	△24	△0
固定資産処分損益	△10	14	△24	△0
税引前四半期 (中間) 純利益	3,084	332	2,752	2,183
法人税、住民税及び事業税 (△)	622	△264	887	452
法人税等調整額 (△)	228	357	△129	149
法人税等合計 (△)	850	93	757	601
四半期 (中間) 純利益	2,233	239	1,994	1,582
与信費用 (①+②-③-④)	12	△1,134	1,147	30
コアOHR (除く投資信託解約損益) (注4)	66.6%	△1.2%	67.9%	67.7%

(注1) コア業務粗利益

= 業務粗利益 - 国債等債券損益

(注2) 実質業務純益

= 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額

(注3) コア業務純益

= 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

(注4) コアOHR (除く投資信託解約損益)

= 経費 ÷ (業務粗利益 - 国債等債券損益 - 投資信託解約損益)

## (2) 預金・貸出金の残高(単体)

## ① 預金の状況

- 2024年12月末の「預金残高」は前年同期末比42億8百万円0.5%減少の7,314億60百万円、「預金平残」は同67億33百万円0.9%増加の7,220億35百万円となりました。

	2024年12月末	2023年12月末	2024年9月末
預金(末残)	731,460	735,668	737,472
うち個人預金	498,066	499,951	495,043
うち法人預金	233,393	235,717	242,429
預金(平残)	722,035	715,301	721,335

(単位：百万円)

## ② 貸出金の状況

- 2024年12月末の「貸出金残高」は前年同期末比108億22百万円1.7%増加の6,201億66百万円となり、うち中小企業等向け貸出金は5,623億29百万円、中小企業等向け貸出金比率は90.6%となりました。なお、「貸出金平残」は同120億50百万円2.0%増加の6,081億77百万円となりました。

	2024年12月末	2023年12月末	2024年9月末
貸出金(末残)	620,166	609,344	619,296
うち中小企業等向け貸出金	562,329	560,451	563,020
中小企業等向け貸出金比率	90.67%	91.97%	90.91%
うち消費者ローン	189,854	185,946	189,021
うち住宅ローン	177,972	175,238	177,344
うちその他ローン	11,881	10,708	11,676
貸出金(平残)	608,177	596,127	605,843

(単位：百万円)

## (3) 自己資本比率(国内基準)

- 2025年3月末の「連結自己資本比率」は12.9%程度を予想しております。  
○ 2025年3月末の「単体自己資本比率」は12.5%程度を予想しております。

	2025年3月末 (予想値)	2024年9月末 (実績)	2024年3月末 (実績)
連結自己資本比率	12.9%程度	12.80%	12.49%
単体自己資本比率	12.5%程度	12.46%	12.17%

(注) 上記予想値は経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

## (4) 金融再生法開示債権及びリスク管理債権 (単体)

- 2024年12月末の「金融再生法開示債権及びリスク管理債権」は前年同期末比7億67百万円増加の102億98百万円となり、総与信残高に占める割合は同0.10ポイント上昇の1.65%となりました。

(単位：百万円)

	2024年12月末	2023年12月末	2024年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,185	3,433	3,074
危険債権	7,091	6,084	7,090
要管理債権	22	12	12
三月以上延滞債権	0	—	0
貸出条件緩和債権	21	12	12
小計 (A)	10,298	9,531	10,178
正常債権	611,672	601,497	610,881
合計〔総与信残高(末残)〕(B)	621,970	611,029	621,059
総与信残高に占める割合(A)/(B)	1.65%	1.55%	1.63%

(注)「銀行法施行規則等の一部を改正する内閣府令」(2020年1月24日 内閣府令第3号)が2022年3月31日から施行されたことに伴い、銀行法の「リスク管理債権」の区分等を、金融機能の再生のための緊急措置に関する法律に基づく開示債権の区分等に合わせて表示しております。

## (5) 時価のある有価証券の評価差額 (単体)

- 2024年12月末の「時価のある有価証券の評価差額」は前年同期末比70億50百万円増加の158億66百万円となりました。

(単位：百万円)

	2024年12月末				2023年12月末				2024年9月末			
	時価	評価差額	うち益	うち損	時価	評価差額	うち益	うち損	時価	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	134,473	15,866	22,366	6,500	133,747	8,816	13,646	4,830	135,819	12,954	18,198	5,243
株式	36,797	18,656	19,435	778	29,934	11,008	11,633	625	32,299	14,972	15,518	546
債券	67,617	△4,397	9	4,407	72,683	△2,829	72	2,902	73,427	△3,604	44	3,649
その他	30,058	1,607	2,921	1,314	31,128	638	1,940	1,302	30,092	1,586	2,634	1,048

(注1) 2024年12月末の「評価差額」及び「含み損益」は同年12月末時点の帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。

(注2) 満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。

## (6) デリバティブ取引 (単体)

該当ありません。

以上